

カナダ サスカチュワン州 コーナーストーン・クリスチャン・スクール 宗 さん

留学期間：H29.8～H30.6（1年間）

私は、カナダのサスカチュワン州に交換留学生として滞在しています。多文化の共存する世界で、互いを尊重し合う社会の重要性と自分で積極的に行動する大切さを私は学んでいます。留学生活では、いろいろな点で日本との違いに驚かされています。

私が通う学校はクリスチャンスクールでキリスト教の授業があります。タイやメキシコからの留学生とともに授業を受けながら、他国の文化を理解するために宗教の理解が欠かせないと学びました。そして、私自身、宗教と人間について深く考えるようになりました。

生徒たちが主体的に授業に取り組んでいることも、日本の学校とは大いに異なります。個人個人が自らにとって有意義な時間を過ごすという意味で自己責任と自由を重んじる環境の中で、自分の意見を持つ重要性を認識できました。日本ならば大多数の意見に合わせてしまいがちですが、この国では互いの意見を尊重しつつ、堂々と自分の意見を主張することが求められます。そのため、議論の場では常に前向きな意見が飛び交い、自分自身の考え方を広げることができました。レポートやエッセイなどで自分の意見を言葉にする機会も多く最初は英語力に不安がありましたが、どんな失敗も周囲が”よく頑張ったよ”と声をかけてくれたおかげで、積極的に表現する勇気がわき、少しずつ語学を上達させることができました。

日本で体験したことのないものとしては、起業家精神についての授業がありました。10名のチームメイトと実際に小さな会社を立ちあげ、商品を生産し販売しました。特に、ビジネスの専門家の前で商品についてプレゼンテーションをしたことは、貴重な体験でした。この授業で身に付けた購買意欲を促す説明やコミュニケーション力などを活かして、将来、何らかの形で社会に貢献できたらと思います。



起業家精神の授業での販売実践

私は週に一度、語学学校で移民や難民の方に英語を教えるボランティア活動に参加しています。力になれるか心配を抱きながらも始めた活動ですが、私の生活をより価値あるものに変えてくれました。生徒たちは、市民権を取得すること、就職すること、子供を育てることなど、それぞれ明確な目標をもって語学学校に通っています。“ティーチャー、ティーチャー”と呼ばれる度に喜びを噛みしめ、私自身も一緒に学び楽しんでいます。朗らかな笑顔と、向上心をもって勉強に励む生徒たちですが、ほとんどの生徒は戦争を体験していると聞いた時は驚きました。それ以来、少しでも生徒たちの目標達成を後押しできたらと強く思うようになりました。日本では難民の存在は私にとり遠いものでしたが、友達のような関係を築いています。それが本当に嬉しいです。



クリスマスプレゼントのボランティア



福井県とのランドスケープ比較の発表

人の温かさに感動することも頻繁にあります。多くの方々のご厚意を感じる機会が多いからです。ある時は、ホストペアレンツの知り合いの議員さんに招待され、州都の議会へ行き、州長のスピーチを聴く貴重な経験をいただきました。従来の形式にこだわらない、寛大で柔軟なカナダの国民性を改めて感じる機会になりました。

また、自分が日本文化を紹介するという活動にも積極的に取り組んでいます。ホストファミリーや教会に日本文化を紹介するだけでなく、小学1年生に対して、日本の年末年始の文化に集中したプレゼンテーションをしました。また、授業の一環で、サスカチュワン州と福井県のランドスケープとの比較をし、福井県とサスカチュワンとは大きな違いはないのかもしれないという発見をし、それを発表しました。



ミュージカルクラブの仲間と

ボーカルジャズ、聖歌隊、カーリング、ミュージカル、演劇部のクルーと、学校のクラブ活動では新しいことに積極的に挑戦しています。人種や経験の有無などは関係なく、みんなが力を合わせて頑張る素敵なグループの中に自分がいることは、本当に幸せだと感じます。

残りの半年の期間を大切にしながら、多くのことを学び吸収して、少しでも自己の成長につなげていきたいです。